

土地家屋調査士制度制定60周年
表示登記制度創設50年 記念事業

地籍シンポジウム2010／土地家屋調査士全国大会 in Tokyo

1 日 時 平成22年10月3日(日) 開場時刻：11時
2 場 所 日比谷公会堂
3 収容規模 2000人

開始時刻：13時00分

終了時刻：18時30分

【第1部 開会セレモニー】

会長挨拶
法務大臣挨拶

表示登記制度創設50年記念講演会

- ・講演内容「これまでの法務行政と新たな期待」(講演者：法務省関係者)
～表示登記の50年と土地家屋調査士～

【第2部 地籍シンポジウム】

(1) 特別講座

- ・演題 (仮題)「地籍と法制度」
講演者 鎌田 薫 氏 (早稲田大学大学院法務研究科教授)

(2) パネルディスカッション

テーマ『地籍の可能性を考える』
“ひと・とち・みらい は一もに一”

コーディネーター

山野目 章夫氏 (早稲田大学大学院法務研究科教授)

概要説明「地籍学のデッサン」

パネリスト (順不動)

清水英範氏 (東京大学大学院工学系研究科教授) 村田博史氏 (京都産業大学法科大学院教授)

林 亜夫氏 (明海大学不動産学部長) 鮫島信行氏 (社団法人農業土木事業協会専務理事)

山脇優子氏 (元国土審議会土地政策分科会企画部会・検討小委員会委員) 他

【第3部 地籍問題研究会設立総会】

土地家屋調査士制度制定60周年
表示登記制度創設50年

記念事業

地籍シンポジウム 2010 / 土地家屋調査士全国大会 in Tokyo

“ひと・とち・みらい はーもにー”

「地籍の可能性を考える」の開催にあたって

土地家屋調査士の制度を定めた土地家屋調査士法が、昭和25年7月31日に施行されて以来、今年で60周年という大きな節目を迎えています。制度制定以降先輩各位の英知と努力によって時代の試練を乗り越え、幾多の改正が図られ、現在に至っています。

近年、特に社会の大きな改革の流れの中で、筆界特定制度、裁判外境界紛争解決制度(ADR)等、土地家屋調査士の活躍の場が広がるとともに、新しいステージの中で、より一層、地籍に関する学術的、学際的研究が求められています。2006年京都で開催された第5回国際地籍シンポジウム / 土地家屋調査士全国大会 in Kyoto において「京都地籍宣言」をうたい、新しい時代を切り開く決意を表明し、以来、地籍に関する研究会の設立に向けて幅広く専門分野の枠組みを越えて地籍シンポジウムの開催を重ねてまいりました。

そこで、今回、制度制定60周年を機に、全国の土地家屋調査士の会員力を結集し、地籍制度の更なる進化を目指して、広範な角度から研究された成果を社会に向けて発信し、市民社会の安心・安全に寄与していくため、地籍シンポジウム 2010 / 土地家屋調査士全国大会 in Tokyo を開催いたします。

地籍シンポジウム 2010 / 土地家屋調査士全国大会 in Tokyo

参加申込書 [お一人様一用紙]

参加申込方法 申込用紙にある必要事項をみれなくご記入の上、FAXにてお申込みください。

参加申込先	土地家屋調査士関係の方は、所属の土地家屋調査士会へFAX
	一般の方は、日本土地家屋調査士会連合会へFAX：03-3292-0059
申込締切日	平成22年9月6日(月)到着分まで有効

お問合せ

日本土地家屋調査士会連合会 TEL：03-3292-0050

以下の項目をご記入ください。

フリガナ		男・女	職業 (勤務先)	
お名前		歳		
住所	〒		電話	(自宅・勤務先)
			FAX	(自宅・勤務先)
			E-mail	(自宅・勤務先)

上記の個人情報(氏名・住所・電話番号等)は、地籍シンポジウム2010 / 土地家屋調査士全国大会 in Tokyoの参加申込受付作業以外の目的で使用することはありません。